

日退教通信

No. 396

2021.6

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋二一六―二 日本教育会館6F
発行責任者 竹田邦明
TEL 03(52275)2197 FAX 03(52275)2081
Email nitrtaikyoo@gmail.com ホームページURL <http://www.nitrtaikyoo.com>

21～22年度の活動方針案(抜粋)

第49回日退教定期総会
日時：6月11日(金) 11時～16時
場所：日本教育会館8F

今年の総会は、コロナ感染対策の措置として、各単会の代議員は①当日出席 ②ZOOM出席 ③書面評決書提出のどれかを事前登録して行います。この間、4月20日には、第1回ブロック会議を開催し意見をとり入れ、更に6月11日には活動方針(原案)を各単会に送付し、議論をお願いしています。

1. 憲法改悪阻止、立憲主義を取り戻すたたかい

「戦争をさせない1000人委員会」の活動に参加し、戦争法、共謀罪、秘密保護法の廃止を目指す。辺野古新基地建設阻止に抜け、沖縄交流団を派遣する。衆議院選挙(今年)、参議院選挙(来年) 斎藤よしとか、古賀ちかげさんの必勝を目指す。

2. 民主教育を守るたたかい

子どもの貧困を解消し、格差を許さないとりくみ、朝鮮学校差別に反対するとりくみを目指す。

古賀ちかげさん



日退教のみなさま、こんにちは！！

来年(2022年)実施の参議院選挙に日退教議員候補予定者として挑戦する決意をしました「古賀ちかげ」です。日退教のみなさまには、日頃よりご支援、ご協力をいただきましてありがとうございます。

私は、「子ども、くらし、平和」をキャッチフレーズに、政策を訴えています。

子ども：子どもたちが笑顔で学校に通えるよう、子ども・学校・家庭への支援にとりくみます。

くらし：誰もが安心してくらし、雇用の安定・労働条件の改善と社会保障の充実にとりくみます。

平和：平和・人権・民主主義などの憲法理念や子どもの権利条約が生かされる社会を実現します。

新型コロナウイルス感染が早く終息し、みなさまにお会いできることを楽しみにしています。引き続きのご指導をお願いいたします。

3. 原発再稼働を許さず、脱原発に向けたたたかい

たたかい

「さよなら原発1000万人アクション実行委員会」の呼びかけにに応じ、再稼働反対、原発ゼロ法案の運動を進める。福島の大震災の現況を学習し、脱原発社会を目指すため、



3・27 さよなら原発 日比谷野音

福島学習の旅の実現を目指す。

4. 社会保障の充実・発展、生活を守るたたかい

高齢者の年金のマイナズ改定を許さず、後期高齢者の窓口1割から2割負担を阻止する。そのため、累進課税の強化、金持ち優遇の軽減税率に反対する。

5. 組織の拡大・強化

再任用者の組織化、ジェンダー平等のとりくみを強める。組織・財政の見直しを進め、闘争カンパ、大規模災害被災者への支援カンパを行う。

ジェンダー平等委員会報告

第一部 「委員や部会員の報告と日退教の取り組み」

2021年4月19日、11名の参加でジェンダー平等委員会が開かれました。吉田ジェンダー平等委員会委員長は「宝塚市長選で初出馬の女性弁護士が野党共闘と市民の力で県会議員の男性を破り、当選した。森発言への批判の盛り上がり、ジェンダー平等へのきっかけにしている。」と挨拶されました。

その後プロックのジェンダー平等委員や部会員の報告・意見交換に入りました。

●女性ネットワークをつくり学習しているが、N.T.Tなど他産別の女性とジェンダーについて認識が違ふところがあるが、アテナを張って気付きになるとりくみをしたい。国会で「くん」を土井さんは「さん」と変えたが、今は戻っている。国会内の平等をどう考えるのか。(北海道退)

●シニア運動のこの1年はオンライン。県からの多様な性を生きた。非常勤は女性が多く、女性問題である。その背景には女性の貧困があり、老後の不安がある。どう解決すればよいのか。(神奈川県退)

●単会の「コロナ禍とジェンダー」レポートによると、女性は非正規が多く、ケア労働、DV、世帯主への給付問題など影響が大きかった。世界中の武力紛争地域では性暴力が「恐怖に陥れる」など、戦術として使われている。絶望的な気持ちになるが自分の問題として考えなければと思う。(東京高退)

●介護報酬が少ないのも「家事・介護は女性の仕事」という意識があるからだ。区の女性センターで行政に参加する取り組みをしている。私は情報公開委員会の委員。女性差別の根っこには家父長制がある。家制度から脱却して、立ち上がっていかないと。(都退教協)

●「幹事に女性を」と男性に言われるが、女性が入るなら思い切って半数にしないと状況の改善が難しい。20年前から卒業文集に「男だから女だから、をやめよう」と書いてきたが、生徒がわかってくれたかどうか。健康診断の検査結果も「さん」で統一してきた。(千葉高退)

●「勉強してこい」と言われて参加した。自分も呼名は『呼び捨て』だったことや制服・髪型の強制など見直す必要を感じたので、持ち帰りたい。(愛知・現役男性)

☆日退教のジェンダー平等のとりくみ



複数女性役員がいる単会が34と増え、今後増やす(検討含む)単会が42になりました。またジェンダー平等を方針にし、取り組みをしている単会は26と増えました。「女性の参画を進めることで、ジェンダー平等に取り組む」ということが浸透してきています。

☆第5次男女共同参画基本計画の概要と問題点

「選択的夫婦別姓」の文言を削除し「更なる検討」としています。性別役割分業を是とする諸制度(税制・社会保障など)を見直すことに若干触れています。しかし家単位ではなくすべての個人にとって公平で安全な社会の在り方をという視点はありません。

☆「生殖補助医療法」について

昨年12月に成立したこの法案は「女性が第三者の卵子や精子提供を受け、妊娠・出産した場合、出産した女性を母とし、夫(同意)が子の父である。」というものです。この法律には卵子や精子提供が商業化し、代理出産へ道を開く危険性があります。当事者の医学的リスクは全く検証されていません。子どもの「出自を知る権利」も認めていません。今後どのように動き出していくのか注視する必要があります。(文責 ジェンダー平等委員会担当・本村富美子)



2020年度日退教

第一部 「憲法・コロナ・ジェンダー」講演会

講師は、労働問題や差別・格差などに取り組んでおられる弁護士の中野麻美さんでした。以下、その概要を報告します。参加者は14名で、学習会の様子は、オンラインでライブ配信されました。

日本においては、憲法で「法の下の平等」が14条で、「家庭生活における個人の尊厳と两性の平等」が24条で保障されている。しかし、日本の男女平等指数（世界経済フォーラム）は、120位と最低レベル。特に政治におけるレベルが低く、日本の政治では男性に権力が集中している。

そして新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、様々な雇用関係上の問題が発生している。

(1)雇用・正規・非正規・性別格差
非正規雇用者数は2019年3月からの1年間で131万人減少している。非正規はまず先に首を切られる、「休業」がないから「雇用調整助成金」も「支援金・給付金」も支給対象にならない。（日雇い派遣が典型）生活不安によるストレスは強く重い。
(2)テレワーク
メリットとデメリットが表裏

賃金低下・家庭内ストレス・DVなど。また勤務場所の安全衛生・メンタルヘルスへの配慮の必要など、課題は多い。

(3)労働時間と性別分業

総務省統計局「社会生活基本調査」(1976→2011)によれば、睡眠時間が男性で8時間01分→7時間32分、女性で7時間45分→7時間15分と男女ともに減少しているが、女性の方が少ない。逆に身の回りの用事の時間は男性が0時間52分→1時間07分、女性は1時間08分→1時間30分と、女性の方が多く、その増え方も激しい。

男女が平等にあらゆる分野（健康の維持・ケア・社会的政治的活動の自由など）における責任と権限を分かち合うには1日6時間制、それで生きていける差別のない所得の保障の実現をめざしていく必要がある。

(4)差別・所得格差

社会的差別は労働者派遣を含む非正規雇用の構造によって強い影響を受けながら、性別・ケア・障害・年齢・職務など差別が複合的に存在している。また「同一賃金・待遇」法制は、非正規・正規の格差を「差別」と捉えているわけではない。雇用慣行が構造化した差別は無視されている。例えば、誰にも保障されなければならぬ安定雇用を企業の長期貢献期待



の関係にある。生活の自由・家族的責任との両立の反面、長時間化・非正規化・

と言い換えて非正規にはそれを認めない、等である。複合差別の根絶に向けて、日本の法制には課題がたくさん残されている。

(5)ハラスメント・女性に対する暴力

男女の生物学的性差が武力による闘争＝軍事主義とともに、男性が女性を支配するという家父長制を生み出した。そこには、性的なことは男性に支配権があると考へ方があり、支配と暴力は深く結びついている。ハラスメントを受けた女性は「女性に嘘をつくもの」「女性が性的に誘ったに違いない」「拒否もイエスのうち」といった見方をされ、ハラスメントに抗おうにも行動が制約され、相談することも、公にすることもできない。ジェンダー差別に基づく暴力を禁止・防止することが強く求められる。

社会から暴力をなくすには、「職場」（事業目的を全員で実現するための人的結合体）が最も取り組みやすい。職場から暴力と差別をなくす取り組みは、家庭や地域など社会のあらゆる分野における民主主義と平和の基盤である。

〈講演を聞いて〉

4月30日の毎日新聞によれば、「政府の統計によると、女性の失業率は2%台後半とコロナ前をやや上回る程度だ。だが野村総研の試算では、仕事が半分以下に減り、休業手当も出ない非正規労働者の女性は100万人超もいる。こうした『実質的失業者』も含めると失業率は一気に6%に悪化する」とある。菅首相は「失業率は先進国で最も低い」と強調しているらしい。このような現実、何とかしなければならぬ。（文責 ジェンダー平等部会長・都高教退職者会・芥川治子）



カンパ集計のお詫び

日退教通信第395号（全会員配布号）のカンパ集計に記載漏れがありました。お詫びをし、今回（第396号）記載しました。

単会名	月 日	金 額
かながわ教職員組合連合 役員OBOG会	10月6日	10,000円
沖縄県退職教職員会	11月20日	20,000円
新潟高等学校退職者の会	12月1日	49,670円

なお、4月になってから、佐賀退教29,000円、大分県退教80,000円、千葉高退教100,000円の入金がありました。

本の紹介



「アマビエくん」
～コロナ大魔王をやっつけろ～
文芸社（1200円＋税）
文・絵 小山宗太郎
（新潟県退教会員）

1年以上もコロナウイルスの感染が続いています。文はもちろん、絵も小山さんが描きました。小学校高学年に最適でしょうか。低学年には保護者が読んであげるといいでしょう。162ページの作品です。地元の小学校にも購入してもらおうといいのではないのでしょうか。

退教運動の継続・発展のためにも

日退教通信395号は、A4裏表の1枚ものにして、郁朋社のチラシもいっしょに配布してもらうことにしました。しかし、各単会の全会員に配布する時期は様々で、回数は大体年2～4回ぐらいです。

従って、配布時期が遅れても結構です。是非全会員に配布して下さい。お願いします。また、この機会に、これまでの組合運動、退職後の運動を継続・発展させる意味でも、自分の経験を書籍にして後輩に残したいものです。積極的に、自書出版をしましょう。

◆編集後記◆

コロナ禍で3度目の緊急事態宣言が発令中である。変異株の影響もあってか、新規感染者、重症者、死者数が急増している。大阪をはじめ福岡等でも医療崩壊が現実のものとなり、医療従事者は過重な負担を強いられている。こうした状況でオリンピックの開催中止を求める声が高まりつつある。今でさえ不足している医師・看護師をオリンピックに割けば、救える命も救えなくなり、医療現場の逼迫に輪がかかるのは火を見るより明らかである。加えて、水際対策が甘いと言われている日本に、海外からの変異株が今以上に入ってくるという懸念もある。

そもそも、東京オリンピックは「アンダーコントロール」という大嘘に始まり、「復興五輪」がいつの間にか「コロナに打ち勝った証」としてのオリンピックになり、ワクチンが間に合わなくなると取って付けたように「安全安心」と標語が変わっていった。人事でも、2019年には竹田恒和氏が招致活動をめぐる贈収賄疑惑でJOC会長を、今年の2月には森喜朗氏が女性蔑視発言で組織委員会会長を辞任するというドタバタ劇もあった。

共同通信の世論調査では開催に否定的な声が7割超とされ、宇都宮健児氏が発起人となって始めた開催中止を求めるネット上の署名は5月10日の時点で30万を超え、海外メディアでも中止論が続出している。そんななかで、かの竹田恒和氏の息子である竹田恒泰氏がオリンピック開催を支持するオンライン署名活動を開始したそうである。何をか言わんや…である。(M)